

# データセンターラック G クラス

## 取扱説明書

品番：DGT

第4版

2017年1月

このたびは、「データセンターラック G クラス」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
本取扱説明書に記載されていない取り付けまたは、取り扱いをされた場合、事故や故障の責任は負いかねますので、ご了承ください。

### 安全上のご注意

お使いになる人や他の人々への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。ご使用前によくお読みください。

■誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害は次のように想定されます。それぞれの表示と意味を区別して、説明しています。

■お守りいただく内容を次の絵表示で区別して、説明しています。

<b>警告</b>	死亡または重傷の発生が想定される内容です。
<b>注意</b>	中程度の障害や軽症の発生または物的損害のみが想定される内容です。

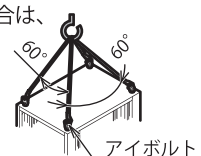
<b>禁止</b>	してはいけない禁止している内容
<b>強制</b>	必ずしなければならない強制の内容

#### 警告

■輸送・移動のためにクレーンを使用する場合は、左右に連結した状態で吊り上げないでください。変形や落下する恐れがあります。

■接地線は接地端子に確実に接続してください。接地工事に不備があると、感電の恐れがあります。  
■設置作業をおこなうためには、フォークリフト・クレーン・玉掛けなどの資格が必要です。作業は必ず、有資格者がおこなってください。

■本製品の吊り上げにアイボルトを使用する場合は、4箇所吊り上げ、ワイヤー掛け角度は60度以下で使用してください。3箇所以下での吊り上げやワイヤー掛け角度が指定角度を超えた場合、アイボルトで支えきれず、落下する恐れがあります。



■アンカーボルトは必ず M16 を使用してください。指定以外のボルトを使用した場合、転倒や破損の原因となります。  
■設置をおこなう場合、サイドパネルの着脱をおこなう場合は、必ず2人以上で作業をおこなってください。けがの原因となります。

■下表の適正締め付けトルクで確実に締め付けてください。また定期的に増し締めしてください。適正締め付けトルク以上で締めすぎますと、ねじ山がつぶれたりねじが抜けなくなる恐れがあります。

種類	呼び	締め付けトルク
十字付き 小ねじ	M 4	1.2 ~ 1.6 N・m
	M 5	2.0 ~ 2.5 N・m
	M 6	3.0 ~ 4.0 N・m
六角ボルト	M 12	12.0 ~ 29.4 N・m
	M 16	53.0 ~ 70.0 N・m

#### 注意

■自分で分解や改造または修理をしないでください。分解や改造または修理などで生じた事故については一切責任を負いません。  
■本製品に落下など強い衝撃を加えないでください。変形や破損の原因となります。  
■本製品に集中的な荷重をかけないでください。へこみや変形の原因となります。  
■ハンドルのシリンダーにキーを差し込んだ状態で、強い衝撃や荷重をかけないでください。シリンダーやキーの変形や破損の原因となります。

### ご使用上のご注意

必ず、お守りください

- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- 1台あたりの最大搭載可能重量・耐震荷重はクラスやタイプによって異なります。

<b>G クラス</b>	最大搭載可能重量	： 1000 kg
	耐震荷重 (W600 タイプ)	： 700 kg
	(W700 タイプ)	： 850 kg

- 本製品は EIA 規格の機器を取り付ける構造となっています。
- 本取扱説明書は、大切に保管してください。
- 本取扱説明書に記載されている仕様をはじめとする各事項は予告なく変更することもあります。あらかじめご了承ください。

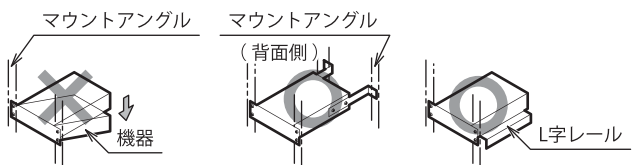
必ず、お守りください

- 安全靴・皮手袋・ヘルメット・作業着などの安全具を装着してください。
- 床の水平を確認して設置してください。固定には図面に指定されている箇所すべてを正しい太さのボルトで強固におこなってください。
- 設置環境は以下条件でご使用ください。下記条件以外の特殊な環境で使用される場合は、性能や機能を損なう恐れがありますので、設置前に弊社へご相談ください。

設置場所	屋内用	標高	2000m 以下	周囲湿度	80% 以下
周囲温度	-5 ~ 40℃ かつ、24 時間の平均値 35℃ 以下				

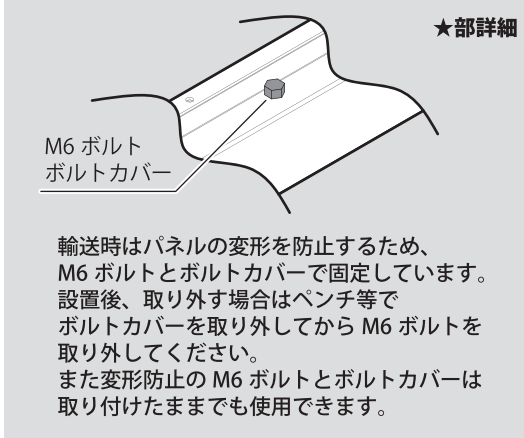
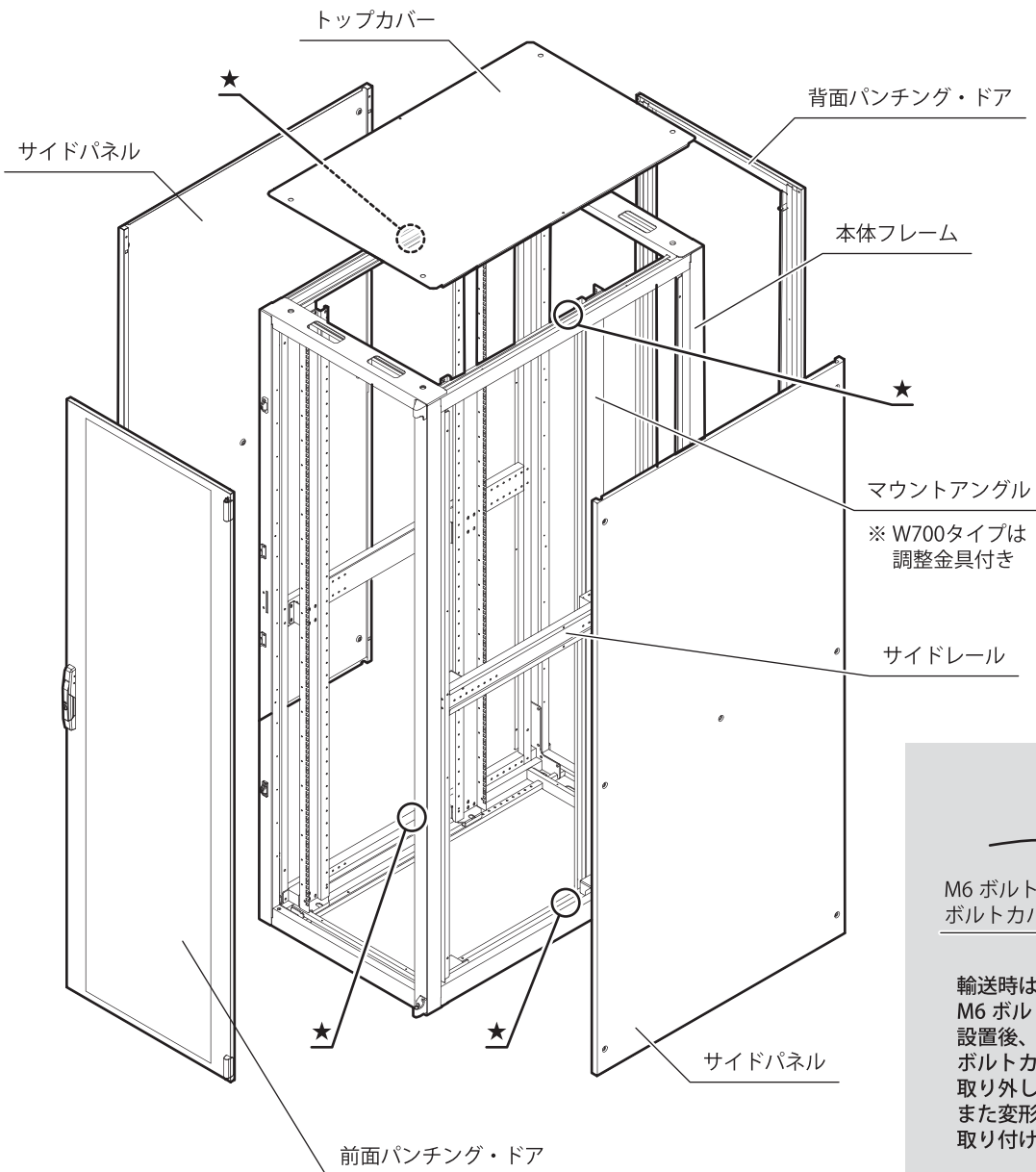
- 結露は内部機器に影響のない程度とする
- 周囲の空気中の塵埃、煙、腐食性・可燃性の気体、蒸気および塩分による汚染が発生しない場所
- 本製品に対して、外部に起因する振動のない場所

- 搭載機器の使用温度範囲を超える恐れがある場合は、適切な換気装置を取り付けてください。
- 高所での作業で脚立などの足場を使用する場合は安定した平らな位置において作業してください。不安定な場所での作業はバランスを崩し、落下する恐れがあります。
- 搭載機器は設置完了後に搭載してください。機器を搭載した本製品を横倒しにすると変形や破損の原因となります。
- 機器を搭載する場合は、必ず固定してください。地震などで搭載機器が落下・破損する恐れがあります。
- ドアの着脱する場合は、蝶番で指を挟まないようご注意ください。けがの原因となります。
- ドアの着脱する場合は、蝶番のピンが確実に差し込まれていることをご確認ください。ドアの脱落・破損の原因となります。
- 扉の開閉は、手を挟まないようご注意ください。けがの原因となります。
- 機器を前面マウントのみで、取り付ける場合の耐震荷重は 1U あたり 5kg です。5kg を超える場合は、前後マウントするか L 型レールなどの補助金具を併用してください。



※荷重以内の機器でも形状(奥行方向)や施工時の取り扱いによっては変形する恐れがあります。

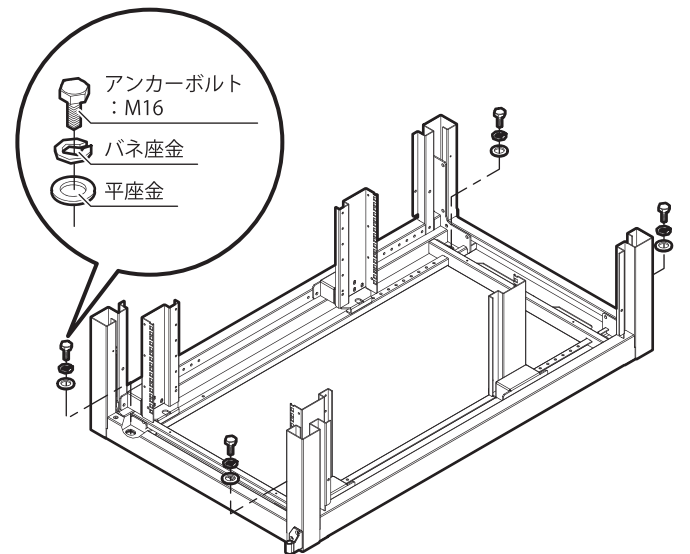
### 仕様(構成部品)



### 設置手順

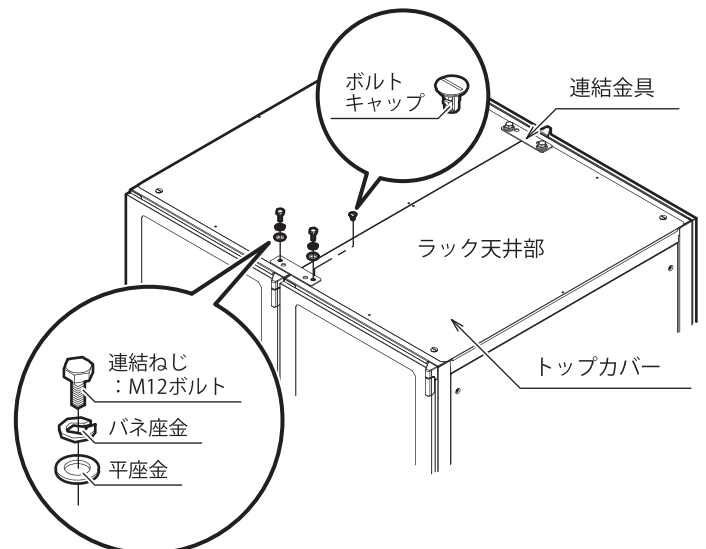
#### ■アンカー固定

- ① ラックの四方をアンカーボルト：M16、バネ座金、平座金を使用して固定してください。  
※アンカーボルト・座金類は付属しておりませんので、お客様でご用意ください。



#### ■ラック連結

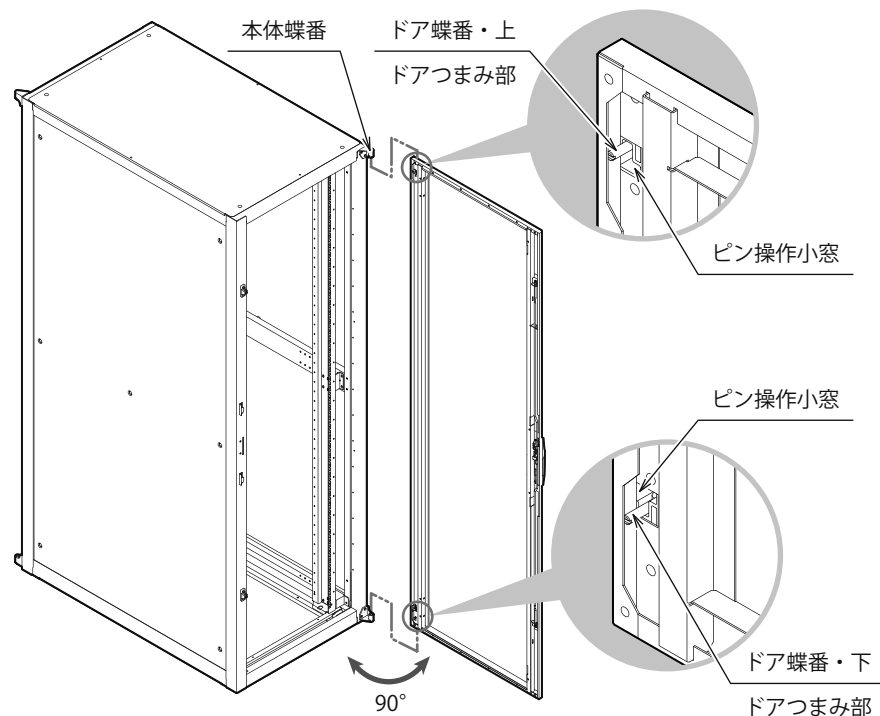
- ① トップカバーからボルトキャップを取り外してください。
- ② ラック天井部にて連結金具・ボルト、バネ座金、平座金を使用してラックを連結します。  
※連結金具はオプション品(品番 RPDG76T)のため、お客様で別途お買い求めください。



## ドアの着脱方法

ドアの取り外し・取り付けは下記の手順にしたがっておこなってください。

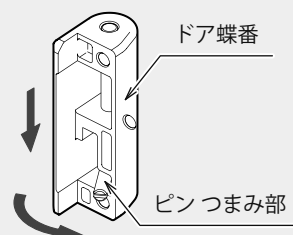
- ① ドアを90度以上開いてドア上部に取り付けられている蝶番のピンを操作してください。
- ② ピンを下げた状態でドアを傾け、上に持ち上げてドアを外してください。
- ③ ドアを取り付ける場合は、ドア下部の蝶番のピンを本体下部の蝶番の穴に差し込み取り外した時の逆の手順で上部のピンを差し込みます。



### ピンの操作方法

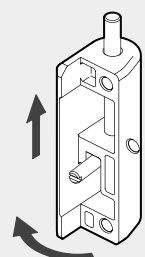
・ピンを収納する場合

- ① ピンを引き下げます。
- ② ピンを回転して引掛けます。



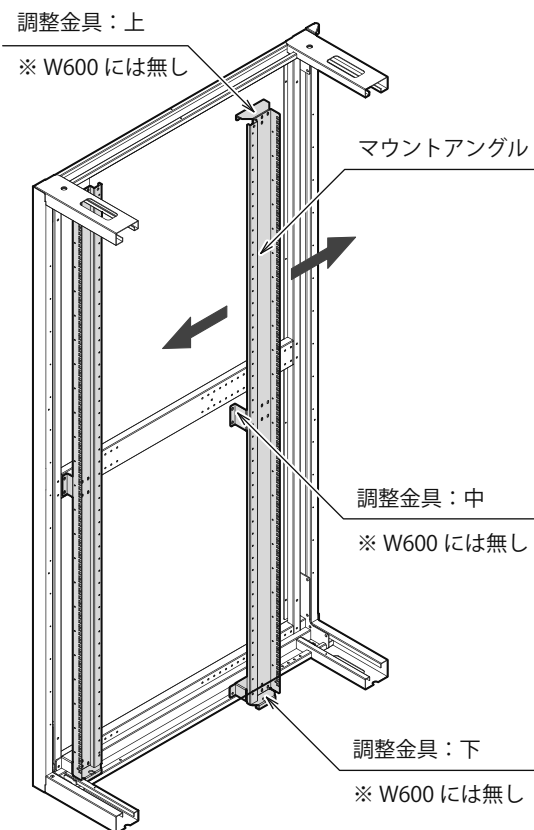
・ピンを出す場合

- ① ピンを回転して引掛けを外します。
- ② パネの力でピンを上に戻します。

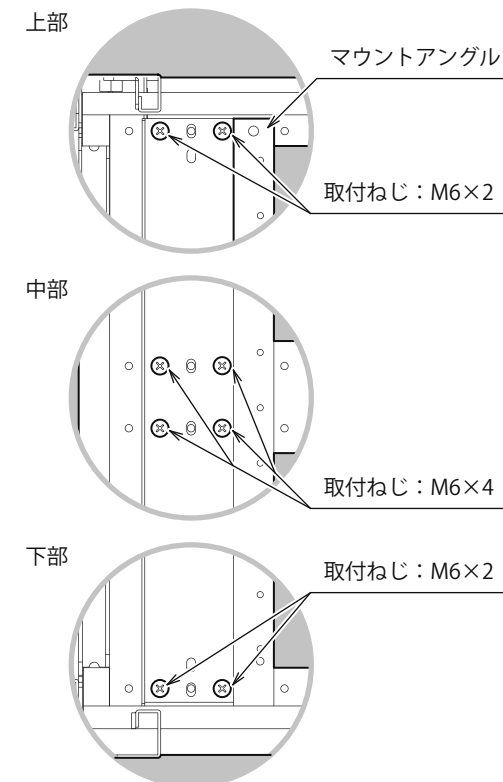


## マウントアングルの移動方法

下図をご参照いただき、マウントアングルの取付ねじを外して、移動させてください。W600とW700タイプで、取り外すねじの位置が異なりますのでご注意ください。



### W600の場合



## パネルの着脱方法

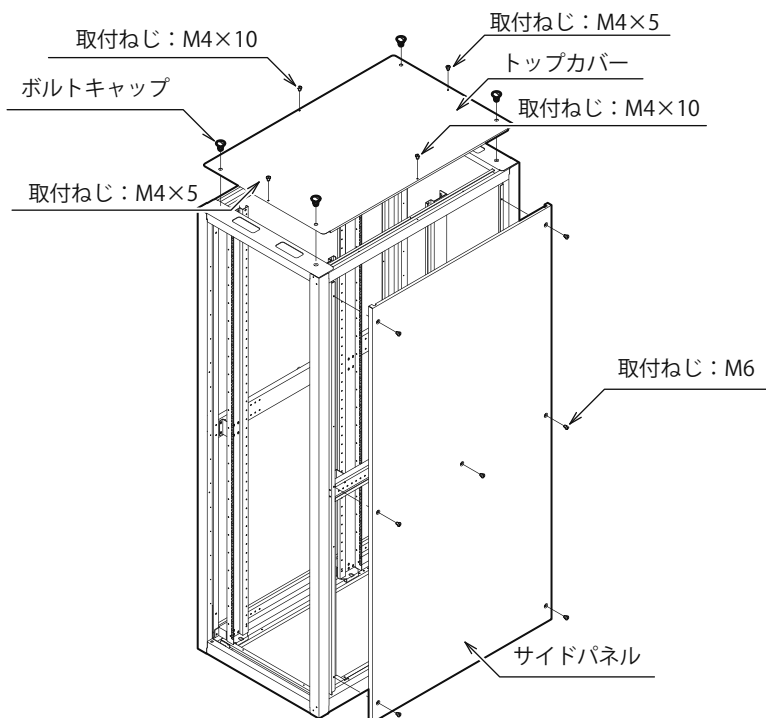
トップカバー、サイドパネルの取り外し・取り付けは下記の手順にしたがっておこなってください。

### ■ トップカバーの着脱

ボルトキャップ4本と取付ねじ (M4×5・M4×10) を外すと、取り外しが可能です。取り付ける場合は、逆の手順でボルトキャップと取付ねじを使用して固定します。※ボルトキャップの取扱方法を参照してください。

### ■ サイドパネルの着脱

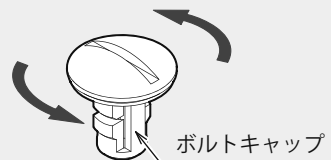
取付ねじ (M6×12) を外すと、取り外しが可能です。取り付ける場合は、逆の手順で取付ねじを使用して固定します。



### ボルトキャップの取扱方法

・取り外す場合

- ① マイナスドライバーを使用して回転させて取り外します。



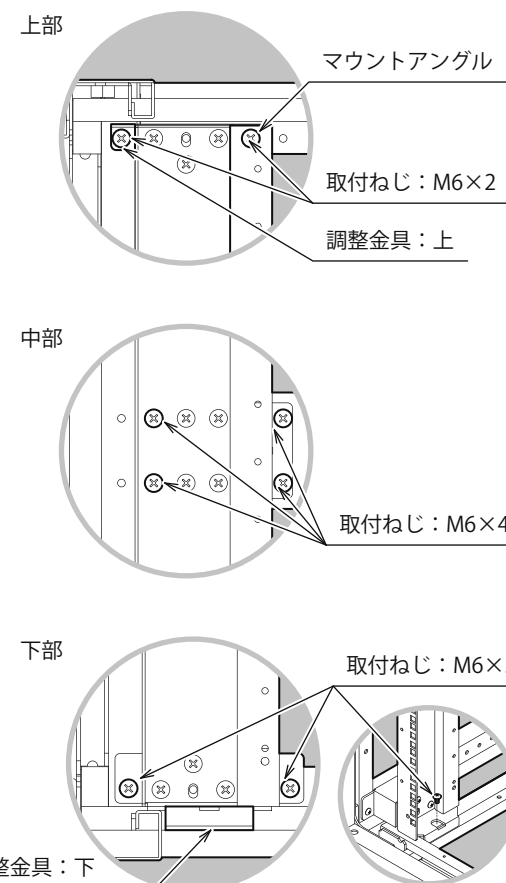
・取り付ける場合

- ① 取り付け穴に位置を合わせます。
- ② 上から押し込んで取り付けます。



### W700の場合

#### ■ 最前の位置以外で使用する場合



#### ■ 最前の位置で使用する場合

